「谷中らしさ」とは？

今後のまちづくりを考える上で、大切にしたい、引き継ぎたい具体的な「谷中らしさ」を指すものをあげてみました。

谷中を特徴づける地形

谷中を特徴づけるのが、上野台地と本郷台地の境に生まれた起伏のある地形です。上野台地の東側縁辺は、JR線沿いの造成された崖地が連なるのに対し、西側は寺院が連なり、境内には自然の斜面が多く残っています。

地区内には、台地と低地をつなぐように坂道があり、坂の上からは谷中の見晴らしの良さを感じることができます。「三浦坂」「善光寺坂」「御殿坂」「七面坂」は江戸期の絵図等に名が残る坂です。この他に、「真島坂」「あかじ坂」など歴史に因む坂もあり、地区の歴史を物語る側面となっています。

こうした地形は、長い時間をかけて形成されたまちの骨格であり、道路や建物の配置、地域の暮らしとも深く関わっています。

地形

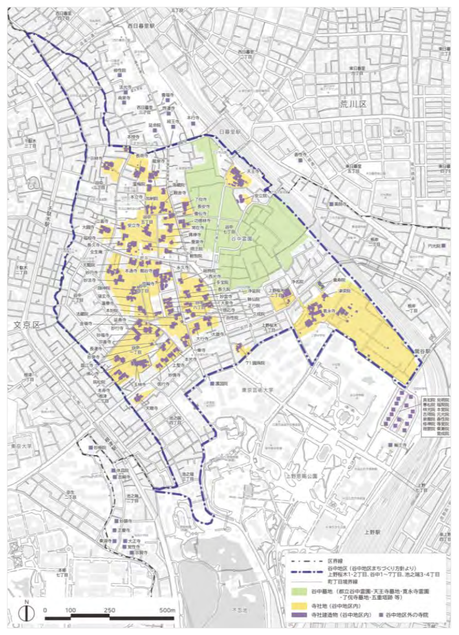


寺町・谷中の75のお寺

寛永2年(1625)、上野の山に幕府の祈祷寺・菩提寺として寛永寺が造営されました。その後、慶安年間(1648-1652)の江戸の市街地拡張に伴う神田付近からの移転、明暦3年(1657)の明暦の大火で焼失した寺院の移転等によって寺町が形成され、石屋、花屋など寺院に関係した商いを行う店や職人が集まって発展していきました。

谷中には、現在も多くのお寺が集まり、寺町としての歴史と景観が受け継がれています。谷中にある75のお寺は、それぞれが長い歴史を持つだけではなく、境内の建物や門、塀、樹木などとともに、谷中のまちなみを形づくる重要な存在となっています。

75のお寺

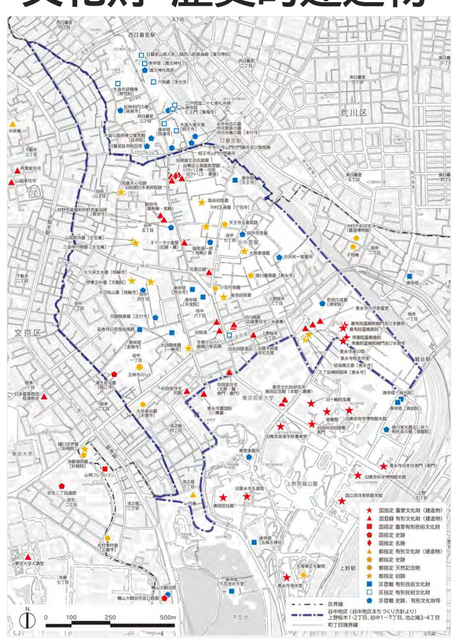


谷中の主な文化財・歴史的建造物

谷中一帯は、関東大震災、戦災の被害が比較的少なかったことから、寺院や明治・大正・昭和の歴史的な建造物、歴史上の人物の墓所など、地域の歴史を伝える文化財・歴史的建造物が数多く残されています。

例えば、寛永寺の4代将軍・徳川家綱と5代将軍・徳川綱吉の墓所にある門などの建造物は、国の重要文化財に指定されています。また、朝倉彫塑館は、東京美術学校(現・東京芸術大学)出身の彫刻家・朝倉文夫のアトリエ兼住居として建てられたもので、国の文化財に登録されています。旧吉田屋酒店は明治43年(1910)に建てられた商家建築で、区の文化財に指定されており、これらは、江戸から近代、そして現在へと続く谷中の歴史や、人々の暮らしの変化を知る手がかりとなっています。

文化財・歴史的建造物



谷中の主な地域活動（祭礼・行事・催しなど）

谷中では、谷中地区まちづくり協議会を中心に、8月の諏方神社(荒川区)の氏子地域である谷中の神輿の巡行をはじめ、地域の行事や催しなど、地域の方々が主体となって行う活動が続いています。町会や地域団体による活動も活発で、10月の谷中まつりでは各町会が模擬店を出店するなど、子どもから高齢者まで多くの方が楽しむ催しが行われています。

谷中らしさは、地形、歴史的な建物や景観といった形あるものだけでなく、地域の人々が長い時間をかけて受け継いできた「活動」や「つながり」にもみることができます。

地域活動



谷中の主な地域活動（祭礼・行事・催しなど）

谷中七福神めぐり

●概要
谷中の七福神めぐりは、江戸時代中期宝暦年間（1751～1764）に始まった江戸では最も古い七福神巡礼といわれています。天海僧正が人々の心を鎮める行政の施策の一環として、七福神めぐりを進言し、大衆に広まりました。

●開催場所
東覚寺（北区）、青雲寺（荒川区）、
修正院（荒川区）、長安寺（谷中5丁目）、
天王寺（谷中7丁目）、
護国院（上野公園）、
不忍池弁天堂（上野公園）

●開催日程
正月期間（1月1日から10日まで）

谷中七福神めぐり（護国院の大黒天）



（写真：台東区公式観光情報サイト）

諏方神社例大祭

●概要
元久2年（1205）に創建された、日暮里・谷中の総鎮守である諏方神社の祭り。境内や周辺の道路に露店が立ち並び、多くの人々で賑わいます。3年に一度の本祭では、本社神輿が町内を渡御、その他の年には、各氏子地域で町神輿の連合渡御が行われます。

●開催場所
諏方神社（荒川区）
その氏子地域
［日暮里9町会・谷中16町会］

●開催日程
例年　8月27日（例大祭）周辺

諏方神社 本社神輿



へちま供養

●概要
浄名院で毎年15夜の日（旧暦8月15日）に行われる供養会です。正式名は「へちま加持祈祷会」。境内には、「八万四千体地蔵」といわれるたくさんの地蔵が並んでおり、このうち「へちま地蔵」に加持祈願すれば咳、喘息に霊験あらたかとされています。へちま供養の日は早朝より夕方までお札を求める全国からの参拝者で溢れ、賑わいます。

●開催場所
浄名院

●開催日程
例年　9月25日（旧暦8月15日）

今年も9月25日（金）開催！

浄名院 へちま供養の様子



（写真：台東区公式観光情報サイト）

谷中菊まつり

●概要
江戸時代から明治時代にかけて続いた「団子坂菊人形」を、昭和59年（1984）に「菊まつり」として復活させたものです。菊人形の展示、菊小鉢の販売や縁日屋台などで賑わいます。

●開催場所
大圓寺

●開催日程
例年 10月開催　（今年で第27回）

今年は10月10日（土）、11日（日）開催！

谷中菊まつりの様子



（写真：台東区HP）

谷中ひゃっこい祭り

●概要
夏のイベントである「谷中銀座祭り」を「谷中ひゃっこい祭り」に名称を変更しました。”下町の涼”をテーマに、工夫を凝らした展示や催しで”涼”を届けるイベントです。

●開催場所
谷中銀座商店街

●開催日程
例年 8月開催

圓朝まつり

●概要
怪談、人情話を得意とした故・三遊亭圓朝（1839-1900）を偲び、墓所のある全生庵を会場に、圓朝が怪談創作の参考に収集した幽霊画を1か月間一般公開するほか、圓朝寄席を開催します。

●開催場所
全生庵

●開催日程
例年 8月開催
　圓朝寄席は8月15日（土）
　（今年で第39回）
　幽霊画の展示は8月中

全生庵 圓朝まつりの様子



（写真：台東区公式観光情報サイト）

谷中まつり

●概要
地域活性化のためにはじまった「文京・台東下町まつり（文京区・台東区共催）」の終了後、台東区単独で「谷中まつり」を開催しています。町会等の模擬店の出店やステージでのパフォーマンスで賑わいます。

●開催場所
（メイン会場）防災広場
（サブ会場）谷中小学校、旧吉田屋酒店、
　　五重塔跡こども広場

●開催日程
例年 10月開催

今年は10月10日（土）、11日（日）開催！

防災広場での谷中まつりの様子



（写真：台東区公式観光情報サイト）

芸工展

●概要
谷根千地域の「まちじゅうが展覧会場」をキーワードに、平成5年（1993）にスタートしました。まちに愛着を持つ作家や職人、まちの人の創作や表現を、まち歩きを通じて楽しむ催しです。

●開催場所
谷中・根津・千駄木・
上野桜木・池之端・日暮里界隈

●開催日程
例年 10月開催　（今年で第34回）

10月中を会期として開催！